



# 沼津100年 文化と歴史



## 継承から創造へ

### 松城家住宅

戸田地区に所在する旧松城家の歴史です。明治6年上棟で、明治9年頃に完成しました。主屋は和風建築に洋風意匠を取り込んだ擬洋風建築と呼ばれる特異な様式で、全国的にも貴重な建築であることから平成18年7月に国の重要文化財建造物に指定されました。建築から150年が経過したことから、平成28年から6年をかけて根本的な修理工事を行い、令和4年11月から一般公開が始まりました。

きらり沼津。次の100年へ

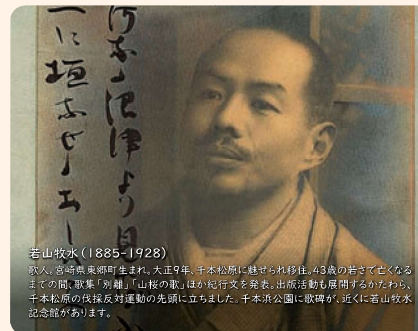


### 長浜城跡

戦国時代に駿河国を手中に収めていた武田氏をけん制するために築かれた、権原備前守景宗を大將とする北条水軍の城。1580年には北条水軍と武田水軍との間で、駿河高海戦が行われました。

## もっと知り、さらに創造し、誇りから魅力あるまちへ

愛鷹山麓において約3万7千年前に始まる人々の営み、市内唯一の前方後方墳である高尾山古墳、戦国時代に築かれた長浜城・興国寺城、西洋の知識・技術を土台とした新時代の教育機関であった沼津兵学校など、時代をつなぐ歴史資源の数々。若山牧水や芹沢光治良、井上靖に代表される文学風土、山本源や本居長世に代表される芸術風土。これら歴史資源の継承や文学・芸術の顕彰と活用のため、周知啓蒙や学習の場の充実に努めています。また、市民が芸術・文化を鑑賞する機会の拡充、情報の効果的な提供、地域性を活かした文化事業を推進しています。



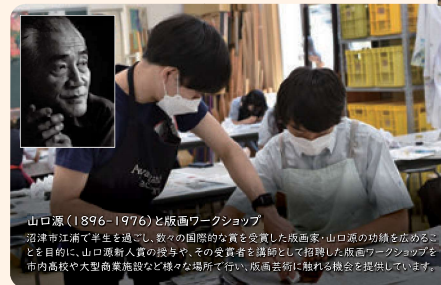
### 若山牧水 (1885-1928)

歌人。宮崎県東郷町生まれ。大正9年、千本松原に赴かれ移住。43歳の若さで亡くなるまでの間、歌集「別離」「山桜の歌」ほか紀行文を発表。出版活動も展開するが、千本松原の伐採反対運動の先頭に立ちました。千本承公園に歌碑が、近くに若山牧水記念館があります。



### 江原素六 (1842-1922)と沼津兵学校

先進的な教育を行い多くの人材を輩出した沼津兵学校や、その設立・運営に関わった江原素六に関する資料は明治史料館にあります。



### 山本源 (1896-1976)と版画ワークショップ

沼津市江浦で半生を過ごし、数々の国際的な賞を受賞した版画家・山本源の功績を広めることを目的に、山本源画人賞の授与や、その受賞者を講師として招聘した版画ワークショップを市内高校や大型商業施設など様々な場で行い、版画芸術に触れる機会を提供しています。



### 芸術祭

毎年秋に1ヶ月半をかけて、音楽や美術・舞踊、文芸などの発表を行う芸術文化の祭典。市民による市民を主役とした芸術祭として、昭和49年から始まり今年で50回を数えます。



### 名勝旧沼津御用邸苑地 (沼津御用邸記念公園)

当時皇太子であった大正天皇の静養のために明治26年に設置された沼津御用邸に由来し、樹齢200年にも及ぶクマツヅクの大木や西附屋敷、東附屋敷が現存しています。平成28年10月には、近代日本における御用邸敷地の景観を伝えるものと評価され、国の名勝に指定されました。